



「茶州からの社会貢献」を茶州オーナーと創り上げる
おぶぶのコミュニティー専門誌



茶州オーナー通信

新茶&世界茶産地フェスティバル特集号



「今月のお茶」

春の太陽が生み出す2種類の新茶

特集

二千人超のお茶好きが来場！

大成功！第1回世界茶産地フェスティバル

今月の表紙：茶摘み体験に集まった人たち

この日の新芽はちょっと小さかったが、参加者の皆さんは大いに楽しんだ。



2012

5

月号



春の太陽が生み出す2種類の新茶

おぶぶイチオシ！2012年新茶、「かぶせ煎茶」、「太陽の煎茶（春）」の
お届けです。

お手元にある二種類の新茶「かぶせ」と「太陽（春）」、ぜひ比較してください。味わいや茶葉の見た目がまったく違います。しかし原料となるお茶の木は、「やぶきた」という同じ品種で、また収穫後の製茶方法も同様です。

では、その違いはどこから来るのか？

それは、収穫直前の日光の浴び方の違いです。「かぶせ煎茶」はその名のとおり、収穫直前の二週間、黒い覆いを「かぶせ」、日光を85%制限して栽培されます。一方の「太陽の煎茶（春）」は、覆いをかぶせることなく、「露地」で春の太陽をおもいきり浴びて栽培されます。

この日光の浴び方の違いにより、「かぶせ煎茶」は出汁のような深みのある甘み、またまるやかな渋み、柔らかく緑鮮やかな茶葉となるのです。また「太陽の煎茶（春）」は「霧香（きりか）」と呼ばれるほどの上品な香りと、春摘みらしいさわやかな渋みが生みだされるのです。

またまるやかな渋み、柔らかく緑鮮やかな茶葉となるのです。また「太陽の煎茶（春）」は「霧香（きりか）」と呼ばれるほどの上品な香りと、春摘みらしいさわやかな渋みが生みだされるのです。

- ①2012年新茶は、味わいの深さが魅力。
- ②「かぶせ」も「太陽（春）」も氷出しにできる。
- ③どちらも4～5煎楽しんだ後の茶がらに醤油をかければ、茶がらのおひたしに。



新茶の香りを引き出す 職人の手

お手元に届いた新茶は、この手が何年もかけて育て上げた新茶です。年間を通じた育成、春の収穫、そして収穫したその晩の製茶・・・すべてこの手で行ないました。

節くれだった無骨な手ですが、お茶作りへのストイックな情熱がこの手から茶葉に込められています。



節くれだった、グローブのようにしなやかに堅い手。
この手で育てられ、この手に揉まれて、新茶のあの高い香りが生まれる。

オーナー茶園よりあっきーの「茶畑日誌」

(2012.3.11~2012.5.10)

「かぶせ煎茶、太陽の煎茶、育てて楽しいのはどっち!？」の巻

正直、遮光ネットをかぶせて、また外して、といった手間がない分、作業が楽なのは「太陽の煎茶(春)」。



遮光ネットをかけない「太陽の煎茶(春)」の茶園

しかしながら、できあがった時のことを考えると、作業のしんどさとは、また話は別。

ただ、かぶせ煎茶を作る際の遮光ネットをかぶせるという行為は、茶農家にとっても負担が大きいですが、茶の木にとっても負担がかかります。そしてこの遮光することで、光合成に必

※茶園主 喜多章浩について；



大学時代、ニコ和東で飲んだ一杯のお茶に感動。大学を中退、茶農家に。10年の修業ののち、茶畑直送のお茶のネット販売「京都おぶ茶苑」を設立。自らが感動した茶葉を作るために今日も茶畑に立つ。

要な日光を制限し、旨味成分であるアミノ酸「テアニン」が新芽に多く集まります。かぶせ煎茶の甘みは、お茶の木と茶農家のがんばりの上にあるんですよ。(モチロン「太陽の煎茶(春)」も手間と丹精こめて作ってまっせ〜。)

日々、茶農家はお茶の木と向き合い、対話しながら、育て上げていきます。



遮光ネットをかけ甘みをグンと吸い上げる「かぶせ煎茶」の茶園



新茶の収穫こそ「茶の木との対話」のクライマックス

畑の位置
する場所の
斜面の向き
や標高を考
慮しながら、
茶農家はど
の遮光ネッ
トを使うか
を決めるの
です。



日光を反射して銀色に輝くかぶせネット

かぶせ煎茶の遮光ネットは黒だけじゃありません。大まかに分けると黒、銀(裏地が黄色)の二種類。黒は軽いので使いやすいけど、日光を吸収してしまい、熱で新芽が焦げるというデメリットがあります。対する銀色のネットは、重くて使い辛いという面があるものの、新芽が焦げる心配はありません。

かぶせネットは・・・

黒だけじゃない!



第4回

二千人超のお茶好きが来場！ 大成功！第一回世界茶産地フェスティバル

国際茶園協会ITFA (International Tea Farm Alliance) 主催

2012/3/9, 10 和束町

▽二千人超のお茶好きが

人回四七〇〇人の和束に集結



インド、台湾など世界五カ国の茶農家が来日、二〇以上の国内・海外の茶畑直送のお茶を目当てに2000人以上のお茶好きが人口わずか四七〇〇人の和束に世界から押し寄せた。

写真上：予想の2倍にもなる2千人超もの客が来場した会場。

▼お茶づくしの二日間

和束町長の開会挨拶を皮切りに「茶源郷の歌」を歌うロックバンドの演奏の中、茶産地フェス開始。フェスの目玉「お茶づくしの屋台村」には、魚沼産コシヒカリのお茶漬け、茶そば、果ては抹茶カレーなどお茶づくし料理が並び、お茶好きのための落語やヨガ等の企画も大いに盛り上がった。そして目標の二倍に当たる二千人超のお茶好きが来場した。



写真右：会場入口では茶娘が入国管理する。
中：できたての茶だんご。左：海外の方も多数来場。



●国際茶園協会ITFA (International Tea Farm Alliance) 主催

「世界の茶文化を茶畑から推進する」を使命に、世界の茶農家とお茶好きをネットワークする組織。現在九カ国二三茶園、五〇〇人超のお茶好きが加盟。経産省ジャパンブランド支援事業

●世界茶産地フェスティバルとは？

世界の茶農家と一緒に介し、世界の茶畑直送のお茶やお茶づくしの料理、イベントが楽しめるお祭り。第二回は二〇一二年一月に和束で開催予定。

●ジャパンブランドとは？

優れた日本の伝統技術や商品を世界にPRするための経産省による支援事業。ITFAも採択されている。

●茶畑オーナーさま限定少人数
私募債とは？？

ITFAの活動に必要な資金一〇〇万円を小口化 (三〇万円×四〇口) し、茶畑オーナー様に短期間お借りし、楽しい利息をつけてお返しするプロジェクト。

▼お茶が世界を変えてゆく。

一月半という驚異的に短い期間で準備した第一回世界茶産地フェスティバル。来場された皆さまは世界のお茶に酔いしれ、海外茶農家は「日本が好きになった」と、地元からは「過去最大の祭り」との高評価いただいた。こうして七年取り組んできたおぶぶの「日本茶を世界へ」伝える活動は、国際茶園協会（以下ITFA）の「世界の茶文化を茶畑から推進する」活動に昇華した。ついに「お茶が世界を変えてゆく」時がやって来たのだ。



写真上：懇親会も大盛り上がり。左上：インド・ダージリンの茶農家ラジブさん。左下：会場周辺の茶畑へのティーツアー。下：和東町長による開会宣言。



▼国と茶畑オーナーによる

舞台裏での支援

ジャパンブランド&茶畑オーナー限定・少人数私募債

今回の茶産地フェスを始め、ITFAの全活動は、経産省の助成金（約一二〇〇万円）に支えられている。しかしこのお金は、全事業完了後にしか支払われない。つまり全額をいったん自腹で支払う必要がある。だが今の自分達にそこまでの余裕はない。そこで国からの助成金を担保に一二〇〇万円を「茶畑オーナー限定・少人数私募債（三〇万×四〇口）」として、茶畑オーナー二十二名様から八ヶ月間お借りした。まさに国と茶畑オーナー様の舞台裏での支援があったからこそ、ここまで来れたのだ。

今後のITFAの活動

毎月開催

お茶の大学

入試ナシ・入学無料・卒業しないのいい生徒のお茶の大学は、茶畑がキャンパスです！

8月初旬

世界茶産地シブジブ
国内の意欲的な茶農家を中心に二泊三日の合宿で世界のお茶の未来を語る。

11月初旬

世界茶産地フェスティバル
この楽しさをもう一度！

2013年1月

ヨーロッパ遠征
欧州をお茶でアツくする！

次回は十一月に開催

茶畑オーナー見聞録

『世界茶産地フェスティバル』に参加してくださった茶畑オーナー様たち

参加してくださった茶畑オーナー様たち

上原美奈子さま

神奈川県厚木市
茶畑オーナー歴 2008年12月〜
URL <http://www.tea-l.com/>

●おぶぶと共に茶文化の発信を

私は茶道の先生をしています。手の中の一碗のお茶がまだ畑にいる時の姿に会いたくて、ある日「ごこう」の畑を訪ねました。その後は、栽培、製茶の説明の他に、その畑を育てているアッキーがどれほど素敵だったかを何度も子供達に語るようになりました。感動するお茶を訪ねる旅は、つまりは、お茶を愛おしみ、敬虔に、そして果敢に「農」の世界でチャレンジする「人」に出会う旅です。

そんな農業に憧れつつも別の世界で生きていく者にとつて、その後生まれ「オーナー制度」は本当にうれしいものでした。ほんの少しでもお茶作りに参加できる幸せを得た思いでしたが、このコミュニティを通じて、たくさんの方の素敵な「人」に出会うことにもなりました。おぶぶはお茶屋さんですが、他のお茶屋さんもお茶以外の人も宣伝しちやうおもしろいお茶屋さんです。それは根っこところが、茶文化屋さんだからなのだと思います。先日参加した「世界茶産地フェスティバル」では、まさにそれを確信しました。会場はお茶を売る物産展の雰囲気ではなく、明らかに文化を発信していました。国境を越え、お茶を楽しみ尽くしている方々と知り合えて、最高のひとときでした。凛とした茶道だけが茶文化ではありません。



「世界茶産地フェスティバル」で接客する上原さん

を育てる取り組み、喫茶の魅力、世界中の茶農家さんのヒストリーも織り交ぜて伝えていくような茶会を、これからも国内外を問わずどんな提案していきたいと思っています。

群馬県 紅茶専門店HOATEA店長
茶畑オーナー歴 2009年10月〜
URL <http://www.hoatea.jp/>

●「世界茶産地フェスティバル」に参加して

ども！群馬県前橋市で「たのしくおいしい HOATEA 紅茶商店」というネットショップを運営し、紅茶の販売をしております。狩野光洋と申します。私がおぶぶさんと出会ったきっかけは、ネットでもたまたまお茶の販売に関して検索していたところ、「茶畑オーナー制度」という面白そうな活動をやられていることに惹かれまして、勢いで申し込んだところから始まります(笑)。先日の「世界茶産地フェスティバル」に遊びに行つてまいりました。初めての和東町だったので、ここでいつも飲んでいる美味しいお茶が作られているのかと思うと、感慨深いものがありましたね。

フェスティバルでは紅茶屋ということで、急遽、セイロンティー「ルフナ」のブースでお茶淹れのお手伝いをさせていただきました。ご来場いただいた多くの方とお茶を通してふれあう事ができましたし、また私が大好きな産地である「ルフナ」の事を知ってもらうきっかけにもなつて、とても有意義な時間を過ごす事ができたと思います。

フェスティバル自体も、お茶、お茶、お茶づくしで、お茶マニアな私には天国のようでしたよ(笑)。そうでない方でも、食べ物や多様なイベントもあって、楽しめる内容でしたね。

また次回以降の開催も楽しみます。できれば何回かの一回は関東地区でも開催されたらいいな、なんて思ったりもしているのですが、どうでしょうか松本さん(笑)。今後もHOATEAは、「世界茶産地フェスティバル」の活動に注目させていただきます！

紅茶のエキスパート・狩野さん



『お茶で世界を変えていこう!』

茶畑オーナー様とのコラボ企画 ご案内 & 大募集!

茶畑オーナー様とのコラボ企画を続々計画中。
またご一緒に何かやってもいいよ~というオーナー様!
ぜひ一緒にやってみましょう!
茶畑オーナー様となら、お茶で世界を変えられます!



Change The World together!

こんな企画を予定しています!

6月第3週の平日

プログラマーのための脳を潤す新茶会 in 虎ノ門・ワークスAPさま

茶畑オーナーのワークスアプリケーションズ様の社会貢献事業として知的障がい者の方が運営する社内向けのカフェがあります。そのカフェを関東在住の茶畑オーナー様とともに盛り上げるイベントを開催します。



7/21 (土)

ティーパンチパーティーin和歌山・茶そば専門店「和塾和 (わのわ)」

和歌山紀の川にオープンした茶畑オーナー様のお店「和塾和 (わのわ)」にて、これまた紀の川で果樹園をされているオーナー様の観音山フルーツガーデン様の果物を使ったティーパンチでパーティーしちゃいます!



※ 次回の発送は7月12日頃の予定です。

●編集後記「ぶぶ漬けたバヤー」

春の新茶を無事お届けできました。春の香りをご堪能くださいね。陸前高田での茶摘み体験ですが、今年は残念ながら中止になってしまいましたが、お茶でできる被災地支援、今後20年は続けてゆきます。

「日本茶を世界へ!」伝える「国際茶園協会」の活動も2年目に入りました。さらにパワーアップしますので乞うご期待!あと、おぶぶに新メンバーが着々と登場。次回紹介しますね。



(2012年4月末日現在)

- 人数: 総数592名 ●坪数総計: 648坪
- 配送先: 10カ国 (日本、アメリカ合衆国、ドイツ、フランス、韓国、オーストラリア、台湾、スイス、イギリス、ハンガリー)
- 人数の多い都道府県: 1位 東京、2位 大阪、3位 京都

企画・編集



〒619-1213 京都府 相楽郡和東町 南 大生水4-4
フリーダイヤル 0120-309-022 FAX 0774-78-2215
Mail obubu@obubu.com 京都おぶぶ茶苑 検索

～ 農業を楽しく ～

■ 3/25
茶苗の植林体験
約2000本のお茶の苗木を植林しました。



■ 4/28
茶摘み&手もみ体験

恒例の茶摘み&手もみ製茶体験。今年は春が遅く、この日の新芽はかなり小さかったです。



■ 5/9
【NHK文化センター】
茶摘み&手もみ製茶体験

NHK文化センターとのコラボ企画。土居好江先生の人気講座だけあって皆さんとっても熱心な方ばかりでした。



■ 5/19
日本一の茶摘み体験
お茶の甲子園・全国茶品評会に出品する茶葉40kgを100人で手摘み。



～ 日本茶を世界へ ～

■ 5/1
日本旅行【茶畑体験】ポーランドから
日本旅行とのコラボ企画。ポーランドから20名さま。昨年、震災でキャンセルに。でも復活してよかった！！



■ 5/10
【茶畑体験】ミシガン大学
茶畑オーナー京都さくら旅館さまとのコラボ企画。



活動報告
トピックス

茶畑オーナーさまのおかげで、たくさんの方が実現しました。ありがとうございます。

～ 日本茶を世界へ(つづき) ～

■ 4/13
インターン生・エリース帰国
富士通のCSR事業であるJAIMS大学インターンプログラムにて、3ヶ月間アメリカ人女子学生エリースがおぶぶにて研修しました。



■ 5/17～
インターン生・アレクサンドラ来日
海外インターン生2人目は、英国人でアイスランド在住女学生のアレクサンドラ。8月までの3ヶ月間おぶぶで研修します



～ 茶畑からの社会貢献 ～

■ 3/31
お茶の大学講座「急須をきわめる」
美人・急須コンシェルジュ小濱綾子さんが30種類以上の急須を持参。かつてない急須体験に一同目からウロコ。



■ 4/1～2
自然育児友の会・お茶のご紹介
京都で開催された自然育児友の会「ここからミーティング」にて、子育てママにおぶぶ茶をご紹介。



■ 5/10
児童自立支援施設の子達に
奈良県立児童自立支援施設「精華学院」の子供達を茶畑に招待し、茶摘み&手もみ製茶体験をプレゼント。農業や茶畑が子供達の自立の糧になれば、うれしい。



～ 今後の予定 ～

- 7/7 夏の茶摘み体験
- 9/29 秋の茶摘み体験
- 11/10～11 世界茶産地フェスティバル
- 2013年1月 欧州への日本茶ツアー